

感動のドキュメンタリー映画 (米)

「アイ リメンバー ミー」の試写会 & 慢性疲労症候群を考えるつどい

難病の慢性疲労症候群 (CFS) と闘う人々を描いた作品。キム監督自身が、CFS の患者。不可解な病気で有効な治療方法はなく、同じように苦悩する全米各地の患者や医師たちを訪ね、ミステリーじみた発症、社会的偏見や政府機関の怠慢などを明らかにしながら、患者や良心的な医師たちの真摯な姿を紹介している。

ドキュメンタリー映画

「アイ リメンバー ミー」

製作・監督：キム・スナイダー

2000年公開 カラー・ビスタサイズ (74分)

2000年デューバー映画祭ベスト・ドキュメンタリー受賞。

I Remember Me

日本語字幕付作品 翻訳：篠原三恵子 字幕制作：有原誠治

4月6日 (火) 12:00~15:00 入場開始 11:30 入場無料

会場 参議院議員会館 1F 第一会議室 (90 席余) 車椅子入場可

地下鉄有楽町線「永田町」駅1番出口徒歩1分。
丸の内線および千代田線「国会議事堂前」駅1番出口 徒歩5分。

上映前のお話 (15分ほど) 篠原三恵子さん (CFS患者で「アイリメンバーミー」の字幕翻訳者)

アメリカに留学していた1990年の夏に慢性疲労症候群 (CFS) を発症。95年に車イス生活となり、96年に帰国。現在は、寝たきりに近い生活を送っています。アメリカのCFS患者は100万人、2006年より政府医療対策センター (CDC) が認知キャンペーンに乗り出し、医師たちの研究や治療活動を支援しています。日本では病気を知らない医師たちがほとんどで、患者たちはまともに診断してもらえず、周囲の無理解にも苦しみ、孤立しています。篠原さんは、同じ病気の仲間たちと出会い、このドキュメンタリーの上映を通じて病気への理解、医療制度の確立、患者が社会保障を受けられるようになることを願っています。

☆「アイリメンバーミー」(74分) 鑑賞後に、参加者によるディスカッションと交流があります。

主催 慢性疲労症候群 (CFS) をとともに考える会

問合せ先：TEL:03-6915-9281 (エイサンロウ内) Email:cfsnon@gmail.com Fax:03-69159282

★当日のお手伝いボランティア募集中です★

慢性疲労症候群 (CFS) とは

生活が著しく損なわれるような強い疲労を主症状とし、少なくとも6ヶ月以上の期間持続ないし再発を繰り返します。その他に、微熱、リンパ節の腫脹、筋力低下、睡眠障害、頭痛/のどの痛み、筋肉/関節痛、思考力/集中力の低下などがみられ、(慢性疲労を起こす疾患もなく)、尿や血液検査などで器質的疾患も見つからない場合にCFSと診断されます。原因不明で治療法が確立されておらず、日本では約38万人、人口比0.3%がCFSを罹患していると推定されています。